

を増やしているが対応しきれしていない」と話している。

和解金額は公表されていないが、請求額は数百万円だった模様で今年1月に和解が成立していた。

ゴルフ場でのイノシシ被害は全国的にも問題が深刻となっている。特に福島原発周辺では放射能汚染で食用のイノシシ猟が減ったりしてイノシシが増加し、被害が大きくなっていたようだ。

東日本大震災・福島原発事故から今年3月で丸7年となった。ゴルフ場の入場者数は震災前にはぼ戻り、営業補償の請求も難しくなっていると、今回の和解は注目されそうだ。

鹿沼72CCのU35会員募集、追加定員もオーバーと好調
対象年齢の引上げ、入会金のグループ割導入等が奏功

鹿沼グループ（福島範治社長）の鹿沼72カントリークラブ（45ホール、栃木県鹿沼市榆木町1475、TEL0289・75・2131）で昨年12月から実施している「U35（アンダーサーティファイブ）会員制度」の募集が、これまでに追加定員を超える入会があり好調だ。

同会員は本紙6185号で既報通り、ゴルフ好きの若者を増やすため一昨年に始めた30歳以下対象の「U30会員制度」が入会ゼロだったことを受け、年齢を5歳引き上げて35歳以下のゴルフアールを対象とし、入会金1・08万円（税

込)、定員50名で募集をスタートした。

Facebookや自社作成ページ(https://peraiichi.com/Landing_pages/view/72cc-u35)で募集の告知を行い、メールでの入会申込みが相次ぎ、募集開始から1カ月ほどで定員50名に到達。理事会の承認を経て定員をさらに50名追加したが、その分も完売するとともに30名ほど入会待ちが出ているという。

鹿沼グループでは「年齢を引き上げたことに加え、入金にグループ割を導入(通常1万円のところ二人同時なら5400円、四人同時なら2700円)としてグループの入会が増えたこと、会費を月会費制から年会費制に変更したこと」を募集好調の要因に挙げており、こうしたリニューアルが奏功したようだ。

同グループでは入会手続処理を終えたゴルファーのプロフィールをまとめており、それによると男女の入会比率は男性が86%、女性が14%で圧倒的に男性が多く、年齢は20〜24歳が24%、25〜29歳が55%、30歳〜35歳が21%で20歳代が8割を占めている。居住エリアは、東京49%、栃木29%、その他(埼玉・神奈川・千葉・茨城・新潟)となっている。

なおU35会員の募集は、理事会の承認次第ではさらに定員を追加する可能性もあるという。